

九州地方整備局 入札監視委員会第一部会 審議概要

■開催日及び場所		令和6年12月17日(火) 福岡第二合同庁舎 共用第4・5・6会議室		
■委員		小林 登(弁護士)、原口 健太郎(公認会計士)、平井 彰(経済団体 顧問)、 前田 隆夫(新聞社 論説委員)、松田 泰治(大学名誉教授)		
■審議対象期間		令和6年4月1日～令和6年9月30日		
■抽出案件		総件数 13件	(備考)	
抽出案件内訳	工	一般競争(政府調達)	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・審議対象期間内に契約した工事等の件数を報告した。 ・審議対象期間内における指名停止等の状況を報告した。 ・審議対象期間内における談合情報を報告した。 ・審議対象期間内の工事における再度入札一位不動状況を報告した。 ・低入札価格調査対象工事の発生状況を報告した。 ・審議対象期間内の工事における1者応札の発生状況を報告した。 ・審議対象期間内の工事における不調・不落の発生状況を報告した。 ・審議対象期間内の工事における高落札率発生状況を報告した。
	事	一般競争(政府調達以外)	6件	
		指名競争	1件	
		随意契約	1件	
		建設コンサルタント業務等	2件	
		役務の提供及び物品の製造	1件	
		少額随意契約(役務及び物品)	1件	
■委員からの意見・質問、 それに対する回答等		意見・質問	回 答	
		別紙のとおり	別紙のとおり	
■委員会による意見の 具申又は勧告の内容		な し		

意見・質問	回 答
<p>I. 入札・契約手続き運用状況等についての報告</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 総括表(工事、コンサル、物品、役務) 2. 指名停止等の運用状況 3. 談合情報関係 4. 工事の再度入札における一位不動状況 5. 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 6. 工事における1者応札の発生状況 7. 工事における不調・不落の発生状況 8. 工事における高落札率の発生状況 9. 工事における1者応札の発生状況(詳細) 10. 工事における不調・不落の発生状況(詳細) <p>○特になし。運用状況等について了承。</p> <p>II. 抽出案件の審議</p> <p>【一般競争方式】 (政府調達に関する協定適用対象工事)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 福岡運輸支局(R6)建築その他工事 <p>○仕組みについて教えてほしいのだが、1回目の入札で予定価格超過となり、2回目の入札で落札となっているが、2回目に移行する際にその入札者にペナルティはあるのか。</p> <p>○審議案件1について了承。</p> <p>【一般競争入札方式】 (政府調達に関する協定適用対象工事以外・一般土木工事)</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 本明川ダム工事用道路広谷地区改良4期工事 3. 南高江地区電線共同溝6期工事 4. 令和6年度山国川相原地区築堤護岸工事 <p>3. について</p> <p>○1社入札となっているが理由はあるか。</p>	<p>○ペナルティはない。</p> <p>○参加表明は2社だったが、うち1社が別工事を受注したことで、技術者の配置が出来なくなったため、途中で辞退となった。その結果、1社入札となっている。</p>

意見・質問	回 答
<p>2. について</p> <p>○他2件は1社入札となっているが、この案件は12社が入札に参加している。競争性の観点からも望ましいと考えるが、何か参加者を増やす工夫や特殊な要因があるのか。</p> <p>○1社が調査基準価格を下回ったため資料の提出を求めたが、未提出だったため無効となったと説明を受けたが、冒頭の指名停止等の運用状況で説明があった指名停止の対象となるものか。</p> <p>○こういったケースは頻繁に発生しているものなのか。</p> <p>○審議案件2. ～4. について了承。</p> <p>【一般競争入札方式】 (政府調達に関する協定適用対象工事以外・一般土木工事以外)</p> <p>5. 令和6年度 外環状共同溝附帯設備更新工事 6. 令和6年度 松原ダム管内維持修繕工事 7. 熊本地方検察庁(R6)機械改修その他工事</p> <p>5. 6. 7について</p> <p>○3件とも1社入札であり、1つ前の一般土木も3件中2件が1社応札となっている。1社応札の発生状況だが、冒頭説明のあったR6年度上半期の工事における1社応札の発生状況では11. 18%となっており、R5年度上半期の発生率よりも若干増えている。この11. 18%はここ数年で比べてみると、高いのか低いのか。</p> <p>○1社応札を減らす工夫をされているかと思うが、目標値などはあるのか。</p> <p>5. について</p> <p>○今回の受注者は、当初に機器設置工事を行った受注者と同じ業者なのか。</p>	<p>○この工事は利潤が見込める掘削工や土工工事が含まれていたため、参加者が増えたと考えている。</p> <p>○この工事は施工体制確認型の総合評価落札方式の発注であり、冒頭に説明した指名停止となった案件は価格競争となる。施工体制確認型であれば、調査基準価格を下回った場合、施工体制の確保を審査するための資料提出を求め施工体制評価点の評価を行うが、未提出の場合は無効となる。一方、施工体制確認型ではない価格競争に関しては、その契約内容に適合した履行がなされない恐れがあるとして資料提出を求めるものであり、未提出の場合は指名停止等のペナルティが発生する可能性がでてくる。</p> <p>○工事などで多く発生している。</p> <p>○ここ数年1社応札の発生率は約10%前後であり、今回の数値が特に高いという数値ではない。1社応札については競争性の観点から問題意識を持っており、改善できるよう参加要件の緩和など工夫しているが、現状減っていない状況。</p> <p>○1社応札が競争性の観点から望ましくはない事は承知しており、各事務所においても参加要件の緩和などを行い、多くの社に参加頂き競争性を保てる工夫を行っている。ただ、全体の問題として技術者の不足など根幹的な問題も抱えているというのが現実であり、発注機関として更なる工夫をしていきたいと考えているが、現在のところ特段の目標値などは設定しておらず、まずは各事務所で更なる工夫を行い、整備局としてもアイデアなど相談に乗りながら1社応札の緩和に努めていきたいと考えている。</p> <p>○機器設置工事の受注者とは異なる業者である。</p>

意見・質問	回 答
<p>○了解した。管理のシステムなので構築した業者以外の社は参加しにくいのではないかと思い確認した。センサー部分のみを更新して、管理のシステムそのものは従来のものを使用しているということで良いか。</p> <p>○参加可能者数が120社となっているが、わずか1社での応札となった理由を推測も含めて説明してもらい教えてほしい。</p> <p>7. について</p> <p>○改修とあるが、元々設置してある機器の一部を改修するというので良いか。</p> <p>○今回の受注者は、当初に機器設置工事を行った受注者と同じ業者なのか。</p> <p>○先程と同様に1社応札であったとしても、ある意味、競争原理が働き同じ業者が受注しているのではないということが良いか。</p> <p>5. 7. について</p> <p>○これまでである設備を導入した場合、導入した業者が次のメンテナンスも受注するケースが多く見られていたが、この2件については別の業者が落札している。何か工夫をしているのか。</p> <p>○審議案件5. ～7. について了承。</p>	<p>○そのとおり。</p> <p>○ダウンロードした4社に確認したところ、技術者不足や共同溝やトンネルでの施工実績がなかったためだと回答があった。</p> <p>○そのとおり。</p> <p>○機器設置工事の受注者とは異なる業者である。</p> <p>○そのとおり。</p> <p>○5. について、参加要件を緩和しているためだと推測している。</p> <p>○7. について、参加要件を緩和し、設置した業者でなくても施工できる条件としているためだと推測している。</p>
<p>【指名競争入札方式】 (通常指名)</p> <p>8. 令和6年度山崎排水機场上屋新設工事</p> <p>○ほとんどの社が辞退しており、入札した3社のうち2社が予定価格を超過している。予定価格が実勢と合っていないという指摘も考えられるが、意見を伺いたい。</p> <p>○審議案件8. について了承。</p>	<p>○予定価格は、官積算と複数社からの見積価格により算定しているが、今回予定価格を超過した2社は見積価格により算定した箇所の金額があわず超過したものと推測される。</p>
<p>【随意契約方式】</p> <p>9. 令和6年度吉井出張所管内河川緊急対策工事</p> <p>○随意契約理由書によると、洪水に伴い緊急的に基本協定書に基づき応急復旧の工事を行っているが、例えば1月の能登半島地震や熊本地震などの大災害の際には、どういった流れで手続きを行っていくのか。非常時の対応について伺いたい。</p>	<p>○災害等が起きた時点で今回のように緊急的に復旧工事として随意契約を行っている。基本的には災害が起こった場合に色々な職種の業界の方と災害時の協定を結んでいることによって、いち早く人や資機材等を派遣頂き、復旧をして頂くよう手続きをしている。その際は、並行して契約手続きを行い、見積や官積算により積算し支払いを行っている。緊急的な対応が一段落すると、復興へとフェーズが移っていくが、その際は、随意契約ではなく適切な入札手続きを選択している。大規模な災害となると業界としても対応できる範囲がどこまでなのか、可能</p>

意見・質問	回 答
<p>○3回見積しているが、2回目までは予定価格を超過していたため交渉しているのか。</p> <p>○審議案件9について了承。</p> <p>【建設コンサルタント業務】 (簡易公募型競争)</p> <p>10. 令和6年度 番匠川水系流量観測外業務 (簡易公募型プロポーザル)</p> <p>11. 令和6年度 鶴田ダム流入量予測システム改良業務</p> <p>10. について</p> <p>○継続的に流量観測を発注していると思うが、前年度に受注した業者が今回も受注しているのか。</p> <p>○やはり実績が必要などで、門戸を広げるのは難しい状況なのか。</p> <p>11. について</p> <p>○システム改良なので、開発した業者が受注しているのか。</p> <p>○やはり門戸を広げるのは難しいものなのか。</p> <p>○審議案件10. 11. について了承。</p> <p>【役務及び物品】</p> <p>12. 令和6年度九州地方整備局管内大規模土砂移動検知システム保守点検</p> <p>○3社が資料を受領しているが、ヒヤリングは行ったのか。</p> <p>○審議案件12. について了承。</p>	<p>な入札契約制度はどれか、どういった職種の方々が参加可能なのか等、業界に聞き取りながら、都度契約の手法を決めている。基本はあるが、そういった意見の聞き取りを丁寧に行いながら、なんとか乗り越えている状況。</p> <p>○見積に回数はないため、予定価格を超過している場合再度見積を依頼している。</p> <p>○前年度と同じ受注者である。</p> <p>○同種、類似業務とも可能な限り緩和している状況であるが、ダウンロードした者に確認したところ、大分県の災害対応等により技術者の確保が難しいと聞いている。その結果、高い技術を持ち昨年度から引き続きの業者が受注したものと推測している。</p> <p>○そのとおり</p> <p>○今年度特に要件の見直しは行っていないが、20社程度の要件を満たす業者数を確認していることや、同種・類似の実績期間の変更に伴い、要件を満たす登録業者数が過年度より増加していることを確認している。また、主は流入量予測システムの改良であるが、検討内容にAI予測が入るなど業務内容が大きく変わっているため、興味を持つ社は増えると考えている。</p> <p>○入札者を除く残りの2社は、システム保守関係の業者ではなく、情報収集のため資料を受領したと考えている。</p>

意見・質問	回 答
<p>【少額随意契約(役務及び物品)】</p> <p>13. 令和6年度鹿児島営繕事務所清掃業務</p> <p>○特になし。審議案件13. について了承。</p> <p>Ⅲ. その他の審議</p> <p>【参加者の有無を確認する公募手続き】</p> <p>14. 遠賀川河口堰ゲート設備修繕工事</p> <p>15. 学頭排水機場ポンプ設備修繕工事</p> <p>16. 殿浦排水機場ポンプ設備修繕工事</p> <p>17. 川端排水機場ポンプ設備修繕工事</p> <p>18. 笹尾川排水機場ポンプ設備修繕工事</p> <p>19. 宝満川前川排水機場1号ポンプ設備修繕工事</p> <p>20. 宝満川小森野排水機場ポンプ設備修繕工事</p> <p>21. 筑後川浮島排水機場ポンプ設備修繕工事</p> <p>22. 筑後川古賀坂排水機場ポンプ設備修繕工事</p> <p>23. 筑後川山ノ井(下流)排水機場ポンプ設備修繕工事</p> <p>24. 筑後川江見(下流)排水機場ポンプ設備修繕工事</p> <p>25. 筑後川寒水川排水機場ポンプ設備修繕工事</p> <p>26. 三本松川ポンプ場2号主原動機修繕工事</p> <p>27. 馬場川ポンプ場2号主原動機修繕工事</p> <p>28. 巨勢川(焼原系)ポンプ場機械設備修繕工事</p> <p>29. 城原川導水ポンプ場機械設備修繕工事</p> <p>30. 嘉瀬川ダムコンジットゲート油圧装置修繕工事</p> <p>31. 牟田辺排水機場機械設備修繕工事</p> <p>32. 寺田水門1号ゲート機械設備修繕工事</p> <p>33. 鶴田ダム3号コンジットゲート修繕工事</p>	

意見・質問	回 答
<p>34. 三堂川排水機場操作制御設備改造外工事</p> <p>35. 向江排水機場操作制御設備改造工事</p> <p>36. 小倉排水機場機械設備修繕外工事</p> <p>37. 瓜田川排水機場機械設備修繕工事</p> <p>38. 瓜生野川排水機場機械設備修繕工事</p> <p>39. 令和7年度九州地方整備局統合道路情報設備改造</p> <p>40. 令和7年度路車間情報処理設備改造</p> <p>41. 令和7年度九州地方整備局統一河川情報設備改造</p> <p>42. 九州地方整備局R7 遠賀川河川情報外部演算装置外改造</p> <p>○特になし。審議案件14. ～42. について了承。</p> <p>IV. 審議内容のとりまとめ</p> <p>○意見具申は特になし。</p>	